

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州安曇野“水色のみち”整備事業
事業主体 (連絡先)	信州花フェスタ安曇野市実行委員会 TEL:0263-71-2249
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業 (6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,230,210 円 (うち支援金: 970,000 円)

事業内容

- 1 宿根草を用いた花修景実践活動と管理体制の基盤整備
本バイパス(拾ヶ堰橋北交差点～豊科南中学校南交差点間)の約200m区間において、宿根草とカラーリーフの混植による花修景を行った。
平成30年10月14日(日)に市民より募集したボランティア70名により実施。
- 2 市内各地への「水色の花」普及事業の実施
安曇野を連想する水色の花(宿根草)を活かした庭づくりを推奨するための取り組みとして、宿根草を活かしたお庭づくり講習会を開催した。
日時 平成30年10月13日(土) 13:30～
場所 安曇野市役所本庁舎 4階 大会議室
講師 ガーデンファームライフオブ安曇野 5名
参加者 8名



【花修景実践活動の様子】

【目標・ねらい】

- ① 緑化活動を通じた市民の意識高揚
- ② 市内活動団体の周知、PR
- ③ 第36回全国都市緑化信州フェアのPR

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 宿根草を用いた花修景実践活動と管理体制の基盤整備
花壇整備に参加したボランティアの方より、来春に花が咲くのが楽しみ、またこのような機会があればぜひ参加したい、信州フェア本番には他の会場も行ってみたい、などのご意見をいただいた。緑化活動に対する市民意識の高揚が図れたと考える。
- 2 市内各地への「水色の花」普及事業の実施
講習会当日の参加者が少なかったことが残念であったが、講師をお願いした団体からは、講習会という場で発表することができてよかった、今後はこのような活動にも取り組んでいきたい、とのお話をいただいた。参加者だけでなく、講師にとっても今後の活動にプラスとなる内容であったと考える。

※自己評価【B】

【理由】
当初予定していた花修景実践活動及び普及事業としての講習会を開催することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成31年4月末より、第36回全国都市緑化信州フェアが開催される。今回の取り組みについて、まずは緑化フェア期間中來場者にご覧いただき、そのうえで整備した花壇を引き続き管理していくための機運を高めていきたい。また、本事業地は信州安曇野ハーフマラソンのコースにも設定されているため、全国からの來訪者に向けて“水色のみち”をPRしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある